

# DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

## CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区

大東ロータリークラブ

■ 事務所  
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10  
ポップタウン住道本館4階  
TEL: 072-875-1200  
FAX: 072-875-0590  
E-mail: office@daito-rc.org  
http://www.daito-rc.org/

■ 例会  
毎週火曜日 12時30分~1時30分  
〒574-0076 大東市曙町4-6  
大東市民会館 4階「大会議室」  
TEL: 072-871-0001

### ◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



創立 1967年12月26日

■ 会長 藤本 和俊  
■ 幹事 高島 登  
■ 会報委員長 松原 清一

2012年~2013年度  
国際ロータリーのテーマ

## 奉仕を通じて 平和を

国際ロータリー会長  
田中 作次

平成24年11月20日

No.2184

H24.11.13 (No.2183 の例会記録)

### 今週の卓話 (11月20日)

「夜間例会」

小川 芳男 社会奉仕委員長

### 次週の予定 (11月27日)

「45周年を迎えて」

谷中 清孝 45周年記念実行委員長

### 先週の例会報告

#### ◆ 出席報告 (11月13日分)

会員数 45名 出席数 35名 欠席者 3名  
特定免除 7名 その他免除 0名  
出席率 92.10%

前々回10月30日分

ホームクラブの出席者 36名 94.73%  
メイクアップの結果 38名  
特定免除 7名 その他免除 0名  
欠席者 0 修正出席率 100.00%

ゲスト 国際ロータリー第2660地区

ガバナー 高島 凱夫氏  
米山奨学生 付翠紅 さん

### 今月のテーマ

「ロータリー財団月間」

### ロータリーソング

「我等の生業」「四つのテスト体操」

### ニコニコ箱

後面に記載



11月に入り秋もずいぶん深まり、京都東山の清水寺では、この10日より色づき始めた1000本の紅葉と500基のライトの競演が、京都の夜に幻想的な姿を浮かび上がらせています。そのような一年のなかでも一番素晴らしく過ごしやすい季節に、本日はR I 第2660地区高島凱夫ガバナーをお迎えしての公式訪問例会が開催されます。



高島ガバナーには公私何かとご多用のところ、遠路、大東RCお越し頂きまして厚く御礼申し上げます。会員一同心より歓迎いたします。また12月の地区大会終わられた後、当クラブの創立45周年式典にご来賓として出席頂けることに感謝申し上げます。

先程例会に先立ちまして、ガバナーと会長・幹事の懇談会を持たせていただきました。現況等報告申し上げ、いろいろとご教示ご助言をいただき、誠にありがとうございました。今後の大東RCの活動に生かす所存でございます。この後の卓話の時間にご挨拶とご指導を宜しくお願い致します。



そして本日は奇しくも私の60回目の還暦を迎えての誕生日であり、思い出に残る例会になると思います。

さて今月始め、私共の業界で多賀城市のS社を訪問してきました。当時3.1Mの津波があり、社員さんは全員屋根上に避難され一昼夜過ごした話や、多賀城市付近の被害の様子を収録した生々しいDVDなどを見させて戴きました。災害の教訓として、津波警報が出たら「直に逃げろ」と避難することを第一優先としていることです。そして被災した地域を案内してもらいましたが、ガスバルクなど剥き出しの状態のまま放置され、まだまだ行政と現場とでは温度差が激しく、復興までほど遠いそうです。そのような状況のなか高島ガバナーの念と同様に当クラブでは、第2520地区塩釜東RCと昨年度より引き続き少しでもお役に立てる支援活動の計画を立てております。また地区より何か情報がありましたら宜しくお願い致します。

最後になりますが、これからに向けてガバナーは日程が一杯詰まっていますが大変だと思いますが、ご健康には十人分にご留意され、大任を無事終えられますようにお祈り申し上げます。歓迎の挨拶とさせていただきます。





委員会報告

◎ニコニコ箱委員会

中野 秀一 委員長

国際ロータリー第2660地区

高島 凱夫ガバナー

- ・結婚記念日 自祝 中原 毅 君
- ・結婚記念日 自祝 佐藤 多加志君
- ・結婚記念日 自祝
- 函館のDVD 最高でした セイゴちゃんありがとう 感謝 植田 直平 君
- ・本日還暦を迎え社員から記念品と寄せ書きを頂きました  
ありがとうございます 感謝 藤本 和俊 君
- ・強風と雪の中日本百名山の<sup>あだたらやま</sup>安達太良山（1700m）と  
会津磐梯山（1819m）に登ってきました 自祝 田中 祥介 君
- ・高島ガバナー大東へようこそ 感謝 高島 登 君
- ・橋本先輩有難うございました おいしかった～！ 感謝 木村 克己 君
- ・皆様のニコニコに感謝！ 中野 秀一 君
- ・ゴルフ練習会に会長はじめご参加頂き有難うございました  
又、清水正義 OB ご指導有難うございました 感謝 東村 正剛 君
- ・中野くん『ニコニコ通信』ご苦労様です 感謝 中嶋 啓文 君
- ・先週熊本、鹿児島に行って来ました 欠席ごめんなさい 東野 喜次 君



御報告

2005～2006 年度大東ロータリークラブの会長をされた石丸 康一氏が  
11月14日逝去されました。

生前のご遺徳を偲び、ご冥福をお祈りいたします。

合掌





◎米山奨学委員会

米山奨学生 付翠紅さん

皆さんこんにちは、私は付翠紅と申します。今日は、研究論文の進捗について報告させていただきます。私の研究テーマは中国における資生堂の経営戦略です。前回、6月の例会に出席させていただいたときに、中国国内化粧品市場の現状、規模、及び、流通ルートなどを調べたと報告させていただきました。本日は四ヶ月ぶりに研究の進捗についてもう一度報告させていただきたいと思います。



研究論文は先週までほぼ書き終わりました。残りは、細かい部分の修正をすることと論文発表会に臨む準備をすることです。私はこんなに早く論文を完成することができたのは皆様のご支援と切り離して考えることはできません。本当に心から感謝しています。ここで全ての方に一言お礼を申し上げたいと思います。

「皆さん、ありがとうございました」。

では、本論文の構成について紹介させていただきます。

**第1章**では、序論として本研究で取り上げる資生堂の背景を述べています。1980年頃まで、中国の女性がまったく化粧しませんでした。改革開放以来、外国との交流が密接となってから、外国文化の影響で、中国の女性が欧米風の化粧をしようと思うようになりました。そのような中で、外資系化粧品企業が中国の膨大な潜在顧客を狙い、市場の優位性を獲得するために激しい争いを始めました。このような内容ではじめ、研究内容や論文の構成について述べています。

**第2章**では、経営戦略論について述べています。ここでは経営戦略の定義や内容について整理し、M. E. ポーターの競争優位の戦略について述べています。

**第3章**では、中国化粧品業界の概要について述べています。具体的には中国化粧品市場の規模、化粧品の流通形態、中国の化粧品ブランドの現状について述べています。

**第4章**では、資生堂の創業と企業理念、資生堂の海外展開とポジション、及び、資生堂の中国市場での活動と歩みについて述べています。

**第5章**では、資生堂の中国経営戦略について述べています。主にSWOT分析で資生堂の中国での内部環境と外部環境を分析することと、資生堂の中国事業の現状、中国における資生堂チャンネル別ブランドのマーケティング戦略、及び今後の事業展開について述べています。

**第6章**では、資生堂の今後の課題について述べています。ポーターの5つの競争要因（新規参入業者、代替品、供給者、買い手、既存業者間の競争）を通じて化粧品業界を分析し、その分析を用いて資生堂を検討し、化粧品ブランドに対す





る中国消費者の認知度を調査し、資生堂の今後の経営戦略を提言しています。

第7章では結論として本論文で得られた成果、および今後の資生堂にとっての課題を述べています。

以上、研究論文の構成について報告させていただきました。

ご清聴、ありがとうございました。



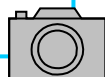
和歌山では、たまに見ることができます。  
イサキ、カンパチ、キミナゴ、イワシなどは結構頻繁に見ることができますが、ブリの群れには感激しました。



ブリの群れ



御存じクマノミ！  
イソギンチャクの家から出た瞬間の撮影です。  
クマノミはかわいい割に獰猛でカメラやマスクに突進して体当たりしてきます。  
イソギンチャクの中に卵があるので取られると思って威嚇だけでは無く攻撃してきます。  
普通の魚は威嚇でおわりますが、白いイソギンチャクがバックでクマノミの黄色と黒がきれいだと思います。



クマノミ



◎ 11月13日（火）例会後 第5回45周年実行委員会が開催されました。

\*次回開催日は11月27日（火）歴代会長会後を予定しております。





◎ゴルフ同好会

東村 正剛キャプテン

先日11月14日（水）、奈良柳生カントリークラブにてゴルフコンペが行われました。参加者23名、優勝は西條会員でした。次回は3月13日（水）飛鳥カントリークラブの予定です。

多数の御参加お願い致します。



《2012年～2013年度インターアクトクラブ年次大会》

11月18日（日）、本年度インターアクトクラブ年次大会が浪速高等学校・中学校インターアクトクラブにおいて開催され、会長・幹事を始め東村インターアクト委員長を含む8名の会員が参加いたしました。





「ガバナー公式訪問」

RI 国際ロータリー第2660地区 ガバナー  
高島 凱夫 氏

地区ガバナーになるためには、国内で開催される2回(2011年9月、2011年11月)の「GETS」と米国・サンディエゴで開催される「国際協議会」への参加が義務づけられています。これらの研修は、PETSに会長エレクトの皆様方に出席義務があることと同様です。



サンディエゴ「国際協議会」は2012年1月16日～20日までの間、朝から夕方までガバナーになるべく、研修を受けて参りました。「Rotary Japan」のHP、「ロータリーの友」にも詳細に掲載されましたので、ご覧になった方も大勢いらっしゃると思います。

2012～13年度RI会長は、1968～69年度東ヶ崎潔氏、1982～83年度向笠廣次(むかさひろじ)氏に次ぐ、30年ぶり、3人目の日本人RI会長 田中作次氏(D2770 八潮 RC・埼玉県)です。

田中作次RI会長のテーマは「Peace Through Service～奉仕を通じて平和を」です。これは、ただ単に戦争と平和ということではなく、この平和は、一人ひとりが心穏やかに日々を生きていくことを意味し、このことが、ロータリーの究極の目的で、ロータリーにしか出来ない世界平和に通じる道である、と述べています。

ロータリークラブに入会して、ロータリーライフを十分に楽しみ、この組織の将来についてお考えになったことがおありかと思えます。ロータリークラブは未来に続くものと信じていますし、皆様方もそう願っていると思います。そのためには、ロータリークラブを引き継いでいく「若いロータリアン」の育成に力を注がなくてはならないでしょう。

それに加え、未来の地球平和を維持していく「若い力・若いリーダーを育む」義務がロータリアン、あるいは世の中の先輩である私たちにはあると思います。それを踏まえて、2012～13年度の地区方針を「育もう未来の力を～飛躍～」といたしました。

停滞している現状を脱却するためには、質の高い、ロータリーにふさわしい新





しい力を注入する必要に迫られていることは、皆様方お判りだと思います。さまざまな社会的変化に伴い、ロータリー自身、ロータリアン自身に変化して行く→変わらなくては行けないのです。田中作次 RI 会長もロータリーの改革を訴えています。今までのロータリーに固執することなく、良いことは率直に認め、受け入れることが「真のロータリアン」であり、ロータリーの発展に貢献する最大のものと思います。

今年度は、次の4つの言葉を **Keyword** にしていただきたいと思います。

- ① 会員増強・会員維持 ② 会員研修 ③ 健全な青少年の育成 ④ 平和な社会への貢献

### ◎会員増強についてのお願い

現在世界で、120万人のロータリークラブ会員を、2012～15年までに130万人にするのが RI の目標です。

当地区の2012年2月度の会員数は3,710名です。大阪でも全力を尽くして「ロータリアンの素質」を持った会員を増強する努力をしなければならないと思います。地区で3,900名、各クラブ6%の純増をお願いいたします。

多分、この6%については、皆様「そんなこと出来ない」と思われる数字だと思いますが、自然退会者を含めた退会者のことを考えると、これでも結果的には、凄く低い数字になってしまうことは、皆様良くお判りだと思います。現在在籍している新しいロータリアンをロータリークラブの次のリーダーとして研修を積んでいただくことは言を俟たないことです。各クラブ「プロジェクト3900」にご参加下さい。

地区でも皆様方の負担金を極力少なくする努力をしていますが、会員が増加することで地区への負担金の減額、強いては各クラブの会費等の減額につながり、会員の増強と良い歯車になると思われれます。

### ◎東日本大震災支援（災害支援）のお願い

**Keyword** には入れていませんが、震災支援も大きな責務と考えます。

今年度も地区としては、災害支援を継続して参ります。この支援は、今後何年に及ぶ事業か判りませんが、ロータリーとして継続すべき大きな事業の一つであると考えて下さい。

今年度は支援の額は申し上げませんが、クラブ、あるいは会員お一人おひとりのお考えで、出来る限り最高の額を、地区災害支援基金に是非ご入金下さいますようお願い致します。第2660地区災害支援基金も現在枯渇しています。災害支援プロジェクト委員会は、今後国内外で発生するであろう災害に対しても支援が出来るよう、地区として常設の委員会にしていくようにしたいと願っています。







震災の支援につきましては、2年目を迎え、更に細かな「心を見守るような」支援が必要となってくるでしょう。心のケアが大事になってくる時期に入ってくると思われます。地域の社会保険協議会との連携も必要になって行くでしょう。

災害支援プロジェクト委員会には、基金の管理のみならず、この様な新しい展開の取り組み、新たな災害支援へのマニュアル作成などの模索も併せて行っていただきたいと願っています。

現在、各クラブで行っている、東北のロータリークラブやその他の団体との連携は、更に深めて戴きたいと思えます。

震災支援につきましては、各クラブ、個人個人で考えが大きく異なっていることも事実でしょう。

### ◎地区大会ご参加のお願い

今年度の地区大会は、2012年12月7日～8日に、大阪国際会議場、リーガロイヤルホテル大阪で開催いたします。「健全な心と体の育成を～地球の平和のために～」をテーマに行います。綱領の解釈のお話、iPS細胞の話など、盛りだくさんの話題を取り揃えています。お誘いあわせの上、賑々しく会場にお越し下さい。

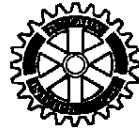
### ◎結びに

私は「灯心に火を点す」という奉仕活動が大切だと思い、奉仕活動を行なっています。お互いのニーズがかみ合わないときは、そっと火を離し、心が通うまでじっと待つことも必要な時もあります。一度ともった灯が、明るく周囲を照らし、奉仕をする人も「して良かった」、奉仕を受ける人も「それを受けて幸せだ」と思う奉仕事業が大切だと思えます。その奉仕を実行、持続するためには、ロータリアンにふさわしい若い力が必要なのです。

地区にとって、前向きで建設的なご意見は、出来る限り取り入れたいと思えますので、お寄せ下さい。

最後になりましたが、貴クラブの益々のご隆盛を心からお祈り申し上げますとともに、一年間、皆様方のお力添えを戴きながら重責を果たしたいと思っておりますので、ご指導、ご鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。





# ROTARY INTERNATIONAL

*Service Above Self – One Profits Most Who Serves Best*

2012年11月13日

大東ロータリークラブ  
会長 藤本 和俊 様  
幹事 高島 登 様

国際ロータリー第2660地区  
ガバナー 高島 凱夫

拝啓 晩秋の候、皆様にはお元気にご活躍のことと存じます。

貴クラブに於かれましては、平素より地区ロータリー活動にご尽力、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本日の公式訪問に際しましては、暖かくお迎えいただき誠に有難うございました。藤本会長様はじめ役員の皆様方のやさしいお心遣い、親切なご配慮を頂いて無事終わることができました。心より御礼申し上げます。

本年度のRI会長方針（Peace through service：奉仕を通じて平和を）を主テーマに、地区方針の（育もう未来の力を～飛躍～）を加えて、皆様方のご支援を頂きながらクラブの活性化のため地区委員全員一致団結して支援を行っていきたいと考えています。何といたってもクラブが主役です。貴クラブはすでに積極的な活動実績をお持ちで、いろいろと特色のある奉仕を計画していただいております。活発なクラブと拝察いたしました。会長様の方針が計画通りスムーズに達成されますことを願っています。

末筆ながら、貴クラブの益々のご隆盛と、会長様、幹事様はじめ貴クラブの皆様方のご健勝と益々のご活躍をお祈り申し上げます。

敬具

11月13日（火）ガバナー公式訪問され、卓話をして頂きました高島 凱夫ガバナーよりお礼状が届いております。載せさせて頂きました。

